

「あまみエフエム ディ！ウェイヴ」放送原稿〈11月7日（金）放送分〉

テーマ：「奄美図書館11月行事のお知らせ」

あまみエフエム ディ！ウェイヴをお聞きの皆様，おはようございます。鹿児島県立奄美図書館です。今日は11月の行事についてお知らせします。

さて，鹿児島県教育委員会では，県民一人一人が鹿児島の教育について考える^{きょうん}気運を高め，本県教育の充実と発展を図るため，毎年，11月1日から11月7日までを，「地域が^{はぐく}育む『かごしまの教育』県民週間」としています。この週を含む前後の週間において，学校や教育に関係する機関では，保護者や地域住民への学校等の開放など，様々な取組が実施されています。

奄美図書館でも，秋の読書シーズンを迎え，多くの県民の方々が図書館にお越しただけるよう，「読書週間」と連動した催しを開催又は計画しています。

その一つが「書庫見学会」です。奄美図書館には20万冊を超える蔵書があります。そのうち閲覧室に並べてあるのは7万5千冊ほどで，全体の40%以下に過ぎません。本棚に並べきれない本や奄美の貴重な郷土資料・新聞などは，書庫に大事に保管されています。そこで，普段は入ることのできない書庫を職員がご案内し，じっくりと見ていただき，図書館について一層の理解を深めていただくのが「書庫見学会」です。今年は11月3日の文化の日に実施し，ご好評をいただいたところです。

次は，第11回「ネリヤカナヤ創作童話コンクール」に寄せられた，奄美の子どもたちの創作童話の展示です。今回は大島地区内の小学生，中学生，高校生から219点の応募がありました。その中から最優秀賞8点，優秀賞18点，学校賞4校などが決定しました。

ただ今，過去に応募された作品を含め，全ての作品を奄美図書館の玄関エントランスや児童閲覧室にて，12月7日まで展示しています。奄美の豊かな風土や自然に^{いだ}抱かれた子どもたちの発想豊かな創作童話を，ぜひ一度手にとって読んでみてください。

次に，島尾敏雄記念室におきましては，「代表作『死の^{とげ}棘』の誕生～昭和35年2月から36年1月までの島尾敏雄日記から～」というテーマで企画展を開催中です。

今回は，作家としての島尾敏雄に焦点を置き，代表作である「死の棘」シリーズの誕生について，日記からの抜粋を中心に紹介しています。島尾敏雄自身の創作態度や作品批評に対する想い，一つの作品を生み出すまでの苦悩など，さまざまな感情の記録をお

楽しみいただけるとと思います。来週の15日、土曜日までの展示となります。この機会に、ぜひご覧ください。

次は、放送大学鹿児島学習センターとの共催行事である奄美公開講座についてです。

11月16日、日曜日、午後1時20分から午後2時45分まで、「有孔虫の話～星砂や銭石など有孔虫の仲間の話～」と題して、八田明夫鹿児島大学名誉教授に講演していただきます。皆さん、星の砂は有孔虫という原生生物の殻だということをご存知ですか？有孔虫は北極海から赤道、そして南極海まで、地球中の海に生息しており、その様々な生態や化石の様子などをわかりやすく紹介します。

場所は4階研修室です。放送大学の学生以外の方も無料で聴講でき、事前のお申し込みの必要もありませんので、興味のある方はお気軽にご参加ください。

そして、11月22日、土曜日、午後2時から3時30分まで、「あまみならでは学舎」7限目を開講します。今回は、「泥染めと共に歩む島唄」をテーマに、伝統工芸士である唄者の福山幸司さんを講師に迎えます。奄美が誇る伝統工芸の泥染めと、伝統芸能である島唄について熱く語る、まさに奄美ならではの講座になっています。

当日は、講義だけではなく、説明を加えながらの島唄紹介や三線の演奏、踊りなどもあります。みんなで奄美のスピリットを存分に楽しみましょう。

場所は4階研修室です。事前の申込をお願いしていますが、当日の参加も大歓迎ですので、この機会に受講してみたいかがでしょうか。

最後に、奄美図書館の休館日についてお知らせします。11月25日火曜日は月曜日の振替休日開館のため休館日となります。また、翌日の11月26日水曜日から12月5日金曜日までは、蔵書点検を行う特別整理のため休館になります。利用者の皆様には大変ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いします。

このため、この期間前の11月5日水曜日から24日月曜日までは、一般書と児童書それぞれ10冊ずつ借りることができます。奄美図書館は、25日から連続で11日間の休館となりますので、この期間にまとめて借りてみたいかがでしょうか。

お知らせしました全てのお申込み、お問い合わせは、奄美図書館までお願いします。

電話番号は、52-0244（繰り返して言う）、FAX番号は52-9634（繰り返して言う）です。

鹿児島県立奄美図書館でした。来週もまたこの時間にお会いしましょう。